

❖ ノロウイルスについて。～その3～ ❖

今回は、二次汚染（流行拡大）予防のための対策についてです。

📌 普段から

❖ 感染予防・拡大予防の基本は、手洗いです

- ◆ 正しい手洗いを、流行シーズン前には、再度確認しましょう。
- ◆ 石けんの補充（液体石けん推奨）、タオルは共用しない（個人持ちタオルであっても、隣と触れあわないように）こと等、流行前に手洗い環境を整えましょう。

❖ トイレに注意

- ◆ 特に流行期には、症状があってもなくても、トイレの後はしっかり手洗いするようにしましょう。
- ◆ 調理従事者は、調理するときの服を着たままトイレに行ってはいけません。
- ◆ おむつ交換やトイレ介助の後も、しっかり手洗いしましょう。

❖ トイレを清潔に

- ◆ 掃除の時は、袖口も覆う長い手袋を着用し、汚物に直接触れないように注意しましょう。
- ◆ 下痢便が飛び散る範囲も想定し、日頃からこまめに清掃し、必要に応じて次亜塩素酸ナトリウムを用いて消毒しましょう。
- ◆ 次亜塩素酸ナトリウムは、有機物の汚れ（便や嘔吐物など）があると効果が低下します。便や嘔吐物など取り除いてから、次亜塩素酸ナトリウムを含ませた布等で清拭しましょう。

❖ 患者が発生した時に備えて

- ◆ すぐに対応できるよう対策方法をまとめ、情報共有しましょう。トイレ掃除や嘔吐時の処理（やり方・必要な器具及びその置き場所）を予め用意しておく事が重要です。
- ◆ 汚物処理セットは、100円ショップでも入手できます。使い捨ての手袋・マスク・エプロン、ペーパータオル、ゴミ袋、バケツ、次亜塩素酸ナトリウム・希釈用の容器（500mL ペットボトル）・希釈方法 など
- ◆ 次亜塩素酸ナトリウムは、希釈したその日に使い切るようにしましょう（保存すると効果が低下します）。

📌 患者発生時には

❖ 患者さん本人について

- 感染してから24～48時間後（潜伏期間）、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛などで発症します。発熱は軽度です。通常、これら症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。
- 高齢者では、嘔吐物を誤嚥したことが原因で死亡する事もあり、状態には注意が必要です。
- 集団生活（保育園・学校・施設）している人は、症状がある事を先生などに報告しましょう。
- 下痢・嘔吐のあるときは、集団遊びなどは控えましょう。
- 症状が治まった後も、便にはウイルス排出が続きます。排便後の手洗い・消毒は十分にしましょう。

❖ 周囲の方々は

- 流行期、特に患者発生時は、次亜塩素酸ナトリウムを使用した消毒・拭き掃除を実施しましょう。
- 生活環境で嘔吐があった場合、健康な人が近づかないよう、早急に通路を確保しましょう。
- 嘔吐物などを処理・清掃する人は、自身が感染しないように、きちんと防御（手袋・マスク・エプロン）して処理するようにしてください。
- 汚れた衣類を洗うとき、取り除ける汚物はトイレに捨て、すすいで汚れを落とした後、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯で消毒します。この時も、処理する人は、防御が必要です。
- 使い捨てできない道具を処理に使用した場合にも、次亜塩素酸ナトリウムや熱湯で消毒します。
- 次亜塩素酸ナトリウムが使用できないカーペット等の場合、アイロンで高温にする方法もあります。
- 集団生活の場で感染が広がると対策が急務です。出来るだけ速く保健所に連絡・相談しましょう。



次亜塩素酸ナトリウム希釈方法
 （5%濃度の塩素系漂白剤場合）
 ・嘔吐物・下痢処理時
500mL にペットボトルキャップ2杯
 ・環境の消毒
500mL にペットボトルキャップ半杯